

## 明治150周年の節目にノスタルジックな世界に触れる ガスミュージアム收藏品デジタルカタログを公開！ ～「衣・食・住」暮らしを変えたガス器具をWEB上でも楽しめる～

2018年は明治150周年という節目の年です。ガスの歴史はその明治時代まで遡ります。現在は調理や給湯・暖房での利用がイメージされるガスですが、ガスの始まりは「灯り」からでした。ガス灯の「灯り」はそれまでろうそくの明かりで暮らしていた人々の生活を変化させていきます。その後ガスは「熱」として使われるようになり、やがて「衣・食・住」のすべてに関わるようになります。ガスコンロや給湯器といった身近なガス機器も時代の変遷と共に変化し、今日に至っています。

ガスミュージアムでは、明治時代からのさまざまな「ガス器具類」約1,200点を収蔵しています。收藏品から厳選したガス器具を年代別、器具カテゴリ別に閲覧できるデジタルカタログを2018年2月に公開しました。古めかしいけれど、懐かしくもある。ノスタルジックな世界にひたりながら、明治から現代までガス器具が人々の暮らしを変えていった歴史をお楽しみください。

「收藏品で見るガス器具の歴史」 <http://www.gasmuseum.jp/collection/>



### 器具カテゴリ別のご紹介

ガス器具を5つのカテゴリに分けて紹介しています。

- 照明器具
- 暖房器具
- 調理器具
- 温水器具
- その他

### 「年代別」のご紹介

19世紀前半から現代まで年代別にガス器具を紹介しています。





# NEWS LETTER

TOKYO GAS GROUP

## デジタルカタログに収蔵品として紹介している一例



1872(明治5)年に横浜で実際に使用された燈柱を移築



グリルに炊飯機能が搭載されたガスコンロ(1984年)



新時代・文明開化の様子を生き生きと伝える明治錦絵を約400点収蔵



一度に四枚食パンを焼けるパン焼き器(1929年)

ガスミュージアム <http://www.gasmuseum.jp/>

- 所在地:東京都小平市大沼町4-31-25
- 入館料:無料
- 駐車場:30台(無料)
- 休館日:月曜日/年末年始

※月曜日が祝日及び振替休日の場合は翌日休館

デジタルカタログをお楽しみいただいた後は是非 ガスミュージアムにお越しください。

光と影の表現者「小林清親」展 開催中(3月31日まで)明治はじめの東京風景を情感を込めて伝える小林清親の作品をガスミュージアムコレクションより紹介



東京ガス本郷出張所(明治42年建築)の建物を移設復元したガス灯館(写真左)



黄昏時のガス灯

